長崎市立滑石小学校　校長室だより　Ｎｏ10

# 今日の一言

４．６．２　　校長　渕上　卓也

## 「こちらこそ。」

はずれろ！！はずれろ！！と思いながらながめていた先週の天気予報。一向によくなる予報が出ずに、苦渋の決断をした「開始時刻」と「プログラム」の変更。そして迎えた本番・・・天候に恵まれました。素敵な天気予報の空振りとしておきましょう。

さて、子どもたちの頑張りは、当日見ていただきましたし、ホームページにも少しだけ掲載していますし、学年・学級通信でもお知らせしておりますので、渕上は別の視点で運動会を振り返りたいと思います。

朝７時、運動場からテントの立つ音が聞こえてきました。「おやじの会」のメンバーがたくさん来てくださって、てきぱきと設営作業をしてくださいました。予定通りスタートが切れたのも、「おやじの会」の力が大きいです。

演技・競技中、保護者の皆様の大きな拍手や熱い眼差しが、どれだけ子どもたちの励みとなったことでしょうか。感染症対策にも御協力いただき、感謝しかありません。

そして、後片付けの時、滑石小学校保護者が一致団結し、あっという間に完了。ほぼ予定通りに子どもたちは下校することができました。その様子は圧巻でした。

途中後片付けをお願いして、交通指導で横断歩道に立っていた渕上です。私に対して、多くの保護者の皆様が「ありがとうございました。」「お疲れさまでした。」「お世話になりました。」等、労いの言葉をかけてくださったのです。返す言葉はもちろん「こちらこそ。」こんなに運動会のことを支え、協力頂いたのですから。

勝手ながら皆様のことを、滑石っ子を育てる「なかま」と呼ばせてください。私が考えていた通り、滑石小学校は「なかまに　めぐまれた　しあわせな学校」ですね。私にとって、子どもも大人も素敵な「なかま」たちです。

**＜今日の一句＞**
**天気図を**
**何回ながめた**
**ことだろう　　卓也**